

2017年6月22日(木)

有明新報 3面

KOSEN の窓

叫ばれています。また政府は「地方創生」をキーワードに、地方の発展を図っています。

課題の解決につながる第一歩と考え、有明広域産業技術振興会にご協力いただき、「地元企業研究会」を2月に開催しました。

業技術振興会および関係各位のご協力のおかげで無事に開催できました。アンケートの結果でも、学生・教職員および

「地方創生の起爆剤」となる人財育成を実現し、地域に密着し、ともに本校も発展していかなければなりません。

地域に根ざす人材育成をめざして

地域共同テクノセンター長・教授

富永 伸明

全国の高専は、高等教育機関の中でも産業界から実践力と即戦力を高く評価いただき、卒業生が全国各地の企業へ就職しています。本校の卒業生も関東・関西を中心に、広く国内、最近では海外でも活躍しています。

一方で、有明広域地域への就職率は、1割程度という現状です。

ところで、日本全国に目を向けますと、少子高齢化が進み、人材不足が

の発展」ということで、有明高専に対する期待を寄せていただきました。

4年生・専攻科1年生は、熱心に聞き入っていました。中には、高専OBを派遣してくださった

重要な再確認させられました。文部科学省に本校から申請しているプログラム「有明

地域共同テクノセンター

では、学生と教職員が地元企業とその魅力を知ることが本校に課された

手探り状態の開催にもかかわらず、有明広域産

業技術振興会および関係各位のご協力のおかげで無事に開催できました。

アンケートの結果でも、学生・教職員および

「地方創生の起爆剤」となる人財育成を実現し、地域に密着し、ともに本校も発展していかなければなりません。

海沿岸地域における



2月に開催された地元企業研究会の様子

有明高専